

黒川通信

30cm積もった雪も少しずつ解け始めてきました

立春も過ぎ、春の息吹もちらほら感じられる時期となりましたが、皆様方におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。インフルエンザも峠を越えたみたいですが、まだまだ油断大敵。まずは健康第一でお過ごしください。2月6日の雨で一面真っ白だった工事現場も雪解けが進みましたが、安全を確保するため作業は少しだけお休みをしています。これからは降ったり解けたりを繰り返しながら春に近づいていきますね。もうすこし頑張りましょう。

土石流は何故おきる

土石流とは、土砂と岩石と水が一緒になり、その重みで動きだして、谷を流れる現象をいいます。その特徴的な性質は、水の含み方や、土、石自体の大きさによって異なり、一定してはいないのです。土石流の発生の仕方として、山崩れが起っている場合が多く、その内容は、

- ① 山崩れが起き、土の塊が壊れ、水と一緒にになった動きを伴う
- ② 天然ダム、人口ダムが壊れ、水が一気に押し出されて土砂と一緒にになる
- ③ 大雨のため川の水量が増えることにより、急勾配の溪床に積もっていた土や、石が移動して、土砂の量が増えてしまう
- ④ 火山爆発によって流出した物体や崩壊した山の一部分が、雪や水と一緒に流れるとなっている。

動き出した土石流は時速20kmから40kmの速度で、溪流に堆積していた土砂や石を飲み込み、木々を倒しながら一気に谷を流れて、すべてを飲み込んでいきます



長野県でも平成18年の集中豪雨で諏訪から伊那、飯田にかけて各所で土石流が発生し多くの死者をだした災害は記憶に新しいところです。二度と繰り返したくはないですね。

土石流の前兆としてこんなことがあったら要注意

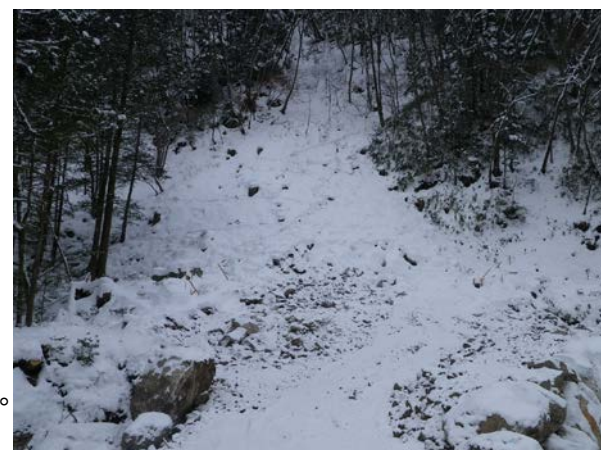
- ① 川の水が急激に濁り、流木が混ざる
- ② 地鳴りや山鳴りがする
- ③ 雨が降っているのに川の水位が下がる
- ④ 腐った土などの異様なにおいがする
- ⑤ 石のぶつかる音がする

「備えあれば憂いなし」日頃から災害に対して気を付けていたいものです。ただし、増水した川に近づくのはとても危険です。専門家に任せて、大雨が降り、注意情報がでたらすぐに避難できるように準備をしましょう。

それでは次回をお楽しみに。
今回は土石流を食い止める砂防堰堤を紹介します。

黒川第4砂防堰堤工事現場今の様子

2月1日 積雪30cmの雪景色



2月15日 所々地肌が見えています



こんにちは現場代理人の石黒です

日ごろは工事に対しましてご理解、ご協力をいただきありがとうございます。今回、現場代理人として現場管理を担当しています石黒です。お見知りおきいただき、街中で見かけましたらお気軽に一声かけてください。顔に似合わず優しいですから何かご意見ご相談等ありましたら電話いただければと思います。

秋田県で生まれて浅川建設工業(株)に入社して27年、主に天竜川の河川工事に従事してきました。一昨年におじいちゃんになり、ダイエットに挑戦するもなかなか結果を出せずに奮闘中です。寒さが身に沁みる時期ですが、地域の安全安心のために頑張っていきますので、今後ともよろしく願いいたします。



浅川建設工業株式会社
長野県上伊那郡箕輪町大字中箕輪11363-1

現場代理人 石黒 敦
監理技術者 竹澤 広秋
現場技術者 村澤 雅樹

ご要望・ご意見がございましたら
090-3236-0507 まで

本社 TEL 0265-79-2218
FAX 0265-79-9156

第1号 平成24年2月発行 次回は4月にお邪魔します
発行者 浅川建設工業株式会社